

誰も知らない、 横歩取り3四飛戦法!

-Level-
8



イラスト: 蒼系

誰も知らない

横歩取り 3 四飛戦法！

-Level-

8

はじめに

こんにちは、レベル8です。

まずは、この本を手にとっていただきありがとうございます。

右玉党の私としては異色の横歩取り本になります。

正直、なかなかの冒険だったとは思いますが、たまたまこの戦法に遭遇し、「これはなんだ？」と好奇心が働いたからです。

そもそも、横歩取りという戦法には、

- ・定跡を覚えるのが面倒くさい
- ・ハメ手が怖い
- ・難しい

という苦手意識がありました。

だからやりたくない、そう思い避けて通ってきました。

しかし、この戦法は違います。

定跡書に書かれているような難解な理論は必要ありません。

非常に親和性のある「振り飛車」であり「横歩取り」です。

振り飛車だから「美濃」があります。

美濃があるから、コツさえ覚えれば誰でも使えるようになります。

さらに言うなら、横歩取りだから穴熊に組まれる心配ありません。

にもかかわらず、それを知らない人がとても多い。何ともしないことでしよう。

確かに横歩を取ってもらって初めて成立する戦法ではありません。

実戦での出現率は2%と言ってもいいでしょう。

ですが、私にとってこの戦法は、横歩取りで勝つための「起点」になりました。

起点はときに勝率を引き起こす原動力となります。

もし、あなたが「横歩取りが指せない」といった悩みを抱えているなら、
ぜひ、この本を読み進めてください。

横歩取りの勝率が少なくとも1割以上は変わります。

可能性が開かれ、やがて序盤の景色も変わってくるでしょう。

右玉党だった私が、

横歩来い！

と、思うまでに変わったのですからお約束します。

誰も知らない

横歩取り
3四飛戦法！

目次

はじめに

序章

基本の駒組み

■ 3 四飛。そのねらいとは | 12

第 1 章

序盤の角交換

■ 第一節 角打ちに伏せた罠カード | 22

■ 第二節 あの角が成れるように見えて… | 28

■ 第三節 香車は毒りんご | 34

第 2 章

6 八玉型

■ 第一節 横歩取りを利用した振り飛車 | 44

■ 第二節 主導権を握れる共通の手 | 54

第 3 章

5 八玉型

■ 第一節 実戦の 80% は中住まい | 80

■ 第二節 いちばん実現性が高いのは | 88

おわりに

序 章

基本の駒組み



【第1図は△3二金まで】

3
四飛。そのねらいとは

◇基本図まで

■初手からの指手

- 7 六歩 □ 3 四歩
- 2 六歩 □ 8 四歩
- 7 八金 □ 3 二金
- 2 五歩 □ 8 五歩

(第1図)

本書で紹介していく具体的なテクニクを学ぶ前に、まずは基本となる駒組みからお伝えします。

私はこれ以外の横歩取りのことは分かりません。

序盤の変化はたくさんありますが、

本書では、3 四飛戦法に絞って解説しています。

【第2図は△3三角まで】



後手、「横歩取り」へと導いていきます。

第1図以下の指手

- ▲ 2 四歩
- △ 同 歩
- ▲ 3 四飛
- △ 同 飛
- ▲ 3 三角
- △ 同 三角

(第2図)

【参考A図は▲5八玉まで】



3 四飛戦法を使用するには、
3 三角戦法（第2図）の経由が必要です。
そして、先手が▲3六飛↓▲2六飛の定跡に進む
かどうかで決まります。参考A図の「青野流」なら、
それは3 四飛戦法にはなりません。ただ、△6二玉
型で返せば、きっと本書の知識も活かせるはずです。

■ 第2図以下の指手

▲ 3六飛 (第3図) □ 8四飛 ▲ 2六飛

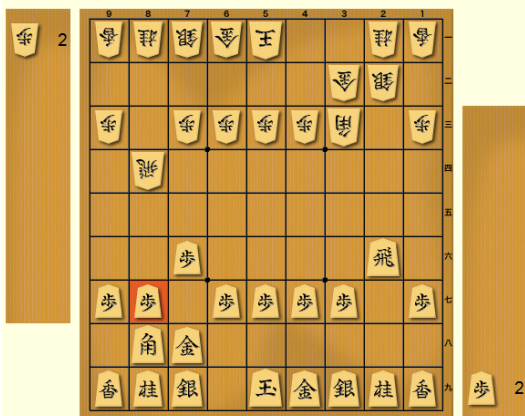
□ 2二銀 ▲ 8七歩 (第4図)

「後手には横歩を取らせない」というのは、自然なこと。これが最もよく指される形です。

【第3図は▲3六飛まで】



【第4図は▲8七歩まで】



歩を打った第4図には、□5二玉、□4一玉、

□1四歩など、それぞれ定跡があります。

普段は無意識に通り返していた局面でしょう。

私も□5二玉が「当然」だと思っていました。

ここでユニークな発想が出ます。

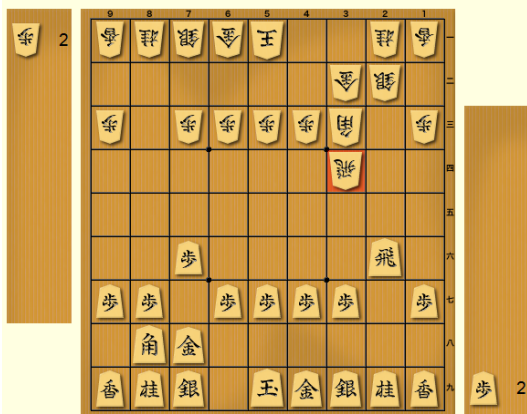
◇ スタート地点

■ 第4図以下の指手

△ 3四飛 (基本図)

まったく指されるはずのない△3四飛。これが、本書で解説する3四飛戦法です。

【基本図は△3四飛まで】



「はじめに」でも書いたように、

「これはなんだ？」が私の最初の印象でした。

目新しいうえに、すぐには意味が解りません。

では一体何を狙いにしているのか？

私は次に記した4つにあると考えています。

1 感覚を狂わせる

振り飛車にすることで定跡を無効化。

2 駒組みを制限する

穴熊を排除し、美濃に囲える。

3 角打ちを誘う

隙を見せ、角打ちを誘う。

4 3筋に歩が打てる

横歩取りを逆用し、いつでも歩が利く。

(底歩、コビン攻め、△3八歩など)

とくに重要なのは、

「横歩取りを逆用する」という点です。

横歩を取られたから、最初から3筋に歩が打てる。横歩取りだから、7八金型で駒組みを制限できる。相手は制限されても、自分には美濃が備わっているー。

あなたもこれが意外に大きなメリットだと気づくのではないでしょうか。

「横歩取り」と「振り飛車」を組み合わせる使用感覚をぜひ体験してください。

本書のタイトルには、

『誰も知らない』としましたが、
実際には、プロ公式戦でも指されています。

第27期竜王戦ランキング戦3組決勝

■糸谷哲郎六段 — □西尾明六段

第27期竜王戦決勝トーナメント

■行方尚史八段 — □阿久津主税八段

同じ「第27期竜王戦」の中で、

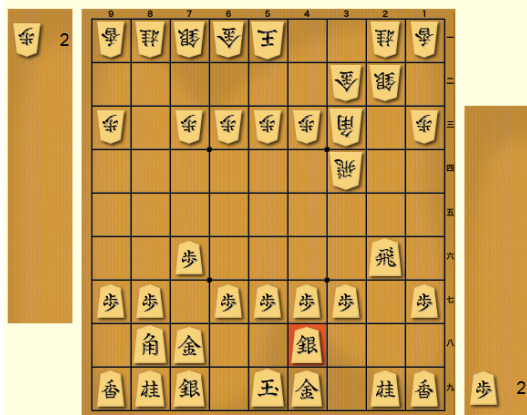
というのが興味深いところです。

残念ながら勝ち星はゼロという結果で、
その後、この戦法は指されていません。

しかし、見方を変えれば、

何が隠されているか誰も知らない戦法なのだ、
と私は思っています。

【第5図は▲4八銀まで】



◇序盤に潜むハメ手

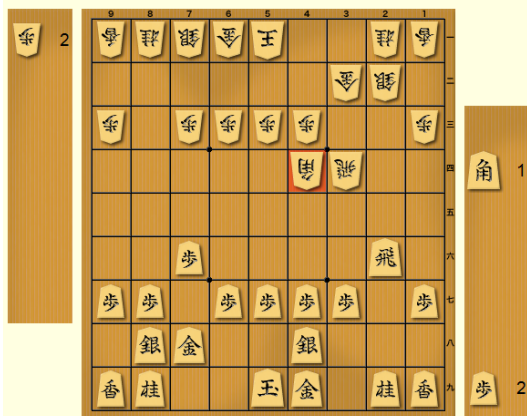
■基本図からの指手

▲4八銀 (第5図) □8八角成 ●同銀

□4四角 (第6図)

ここでひとつ、面白いハメ手を紹介します。

【第6図は□4四角まで】



第5図はあまりに普通すぎる▲4八銀。

角交換から□4四角(第6図)と打っていく。

この角打ちに、①▲2五飛は□3三桂、

②▲5六飛と横にいくと、□2八歩があります。

「飛車を引いてなんでもないのでは？」と思うかもしれませぬ。ところが、強引な手があります。

第6図以下の指手

▲2八飛 △2七歩 (第7図) ▲同飛

△2六歩 ▲2八飛 △8八角成 (第8図)

とても先手を持つ気にはなりません。

以下、仮に▲8三角を打たれてしまっても、

△7四歩で素抜きを狙うという手があります。

第7図で▲1八飛の辛抱には、

△5二玉 ▲7七銀 △2四飛 ▲3九銀 △3三桂

第8図で鮮やかに去っていった角。

後手がどこに銀を打とうとしているか、

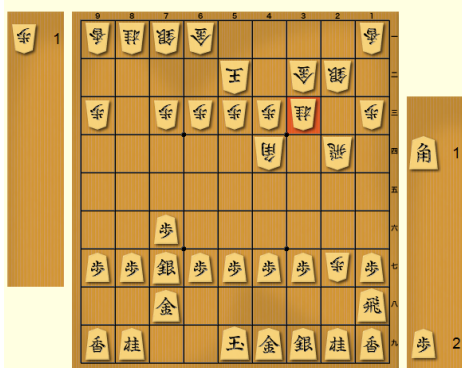
(参考B図)。

すぐに気づくはずです。

【第7図は△2七歩まで】



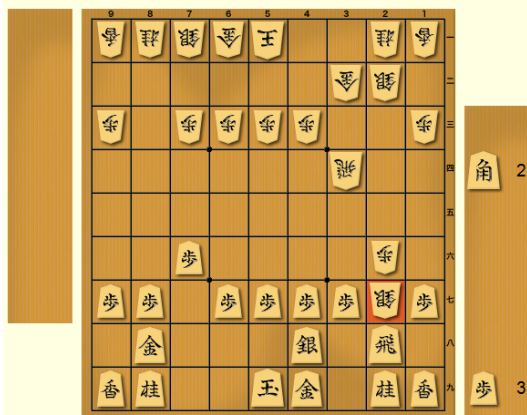
【参考B図は△3三桂まで】



【第8図は△8八角成まで】

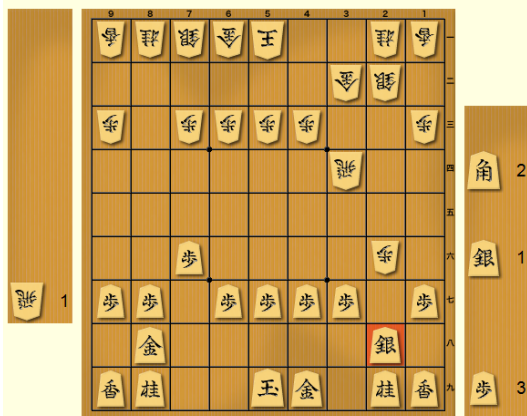


【第9図は△2七銀まで】



第8図以下の指手
 8 八同金 △2七銀 (第9図) 9 九銀
 △2八銀成 同 銀 (結果図)
 飛車の頭に銀の打ち込み。これがグサッと刺さるわけです。ただし、ここでは、

【結果図は▲2八同銀まで】



あくまでも「ハメ手」であることが注意点。
 相手の受け間違いで初めて成立するものです。
 第9図で 9 九銀が対処法で、結果図は、駒得の
 先手が有利となります。この例はちょっとした遊び
 のようなものですが、三四飛戦法の面白さを多少な
 りとも感じとっていただけたのではないだろうか。

全体から見ればわずかな差
 (17ページ第5図には△6二玉が自然。)

[著者]

レベル8

東京都出身。1985年5月31生まれ。
2010年、東京眼鏡専門学校卒業。
右玉サイト『Level.8』の元管理人。
主な著書は、『B級戦法の切り札
風車右玉戦法！』、
『つめとき デラックス30！』、
『角換わり筋違い角の世界！』。



誰も知らない 横歩取り 三四飛戦法！

2017 年 3 月 27 日 初版

2021 年 7 月 30 日 第3版

著 者 レベル8

イラスト 蒼糸

キャラクター原案 織葉紗マサヒロ

将棋盤・駒デザイン 駒職人

Creative Commons 表示-非営利 2.1 日本 License.

本書は著作権法上の保護を受けています。

本書の一部または全部を転載・複写・複製することを禁じます。

